

MOディスクドライブ

MOS-S230F

ハードウェアマニュアル

はじめに

このたびは、弊社製 MO ディスクドライブ MOS-S230F（以後 MOS と表記）をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本書は MOS の取り付け手順や取り扱い方法、注意事項などを解説しています。お使いになる前に必ず本書をお読みください。お読みになった後も本書はお手元に置いて参照してください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。

パソコンの故障/トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

| | |
|---|--|
|  警告 | 絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。 |

絵記号の意味

| | |
|---|---|
|  | は、警告・注意を促す記号です。 の近くに具体的な警告内容（例：  感電注意）が描かれています。 |
|  | に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。 （例：  分解禁止） |
|  | は、しなければならない行為を示す記号です。 の近くに、具体的な指示内容（例：  プラグをコンセントから抜く）が描かれています。 |

警告



強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
火災や感電の恐れがあります。



電源プラグを
抜く

本製品の取り付け/取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグをACコンセントから抜いてください。
電源プラグがコンセントに接続されたまま、取り付け/取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。



強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に子供の手が届かないように機器を配置してください。
子供がさわって、けがをする危険があります。



禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。
電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、ACコンセントに接続されていなくても本製品の故障の原因となります。



強制

イジェクトピンは、子供の手の届かないところに置いてください。
本製品に付属するイジェクトピンは、子供の手の届かないところに置き、使用後は放置せずに直ちに片付けるようにしてください。子供が目をついたり、飲み込んだりすると大変危険です。



電源プラグを
抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



禁止

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



電源プラグを
抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、パソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



水場での使用
禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。



強制

小さな子供が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。



禁止

レーザー光線を直視しないでください。

ディスク挿入口を開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。

本製品は内部で半導体レーザーを使用しています。レーザー光が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。



アースの
接続

配線作業の前にアースを接続してください。

配線作業を行う前に、本製品および本製品に接続するすべての機器（パソコンやSCSI機器など）にアースを接続してください。



禁止

絶対にガス管にアースを接続しないでください。

火災のおそれがあります。



禁止

水道管にはアースを接続しないでください。

水道管の材質によってはアースできない場合があり、漏電による故障や感電のおそれがあります。

注意



強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。



強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

パソコンおよび周辺機器の電源スイッチがONの状態、SCSI-2ケーブルの抜き差しをしないでください。本製品および周辺機器の故障の原因となります。



禁止

各接続コネクタのチリ・ホコリ等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。



強制

本製品の取り付け/取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべてバックアップ（MOディスク、フロッピーディスク等）を作成してください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。データが消失、破損したことによる損害については、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。



禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。



禁止

ディスク挿入口に、MOディスク以外のものを挿入しないでください。

MOディスク以外のもの（フロッピーディスクなど）を挿入すると、故障や火災の原因となります。



禁止

冷却ファンや通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。

故障の原因となります。



禁止

MOディスクを途中まで入れた状態で放置しないでください。

本製品内部にほこりが入り、故障の原因となります。



禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・強い磁界、静電気が発生するところ
故障の原因となります。
- ・振動が発生するところ
けが、故障、破損の原因となります。
- ・平らでないところ
転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- ・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
故障の原因となります。
- ・直射日光が当たるところ
故障や変形の原因となります。
- ・火気の周辺、または熱気のかもるところ
故障や変形の原因となります。
- ・漏電、漏水の危険があるところ
故障や感電の原因となります。
- ・ほこりの多いところ
故障の原因となります。



注意

M0ディスクは下記の点に注意して大切にお使いください。

- ・M0ディスクに、直接触れたりしないでください。
M0ディスクのシャッターをあけて、ディスクに直接触れないでください。汚れたり、傷がつくとデータが読めなくなります。
- ・M0ディスクを分解しないでください。
- ・衝撃を与えないでください。
- ・強い磁場の場所に置いたり、近づけたりしないでください。
データに悪影響をおよぼす場合があります。
- ・ほこりなどにさらさないでください。
- ・直射日光を当てないでください。
- ・M0ディスクのクリーニングを行ってください。
M0ディスクの表面に、チリ、ほこりその他が付着し、M0ディスクが正常に動作できなくなることがあります。市販のM0ディスククリーニングキットを使って、定期的にクリーニングを行ってください。
- ・M0ディスクにラベルを貼るときは、ラベルの貼付位置からはみださないように、しっかりと密着させて貼ってください。
ラベルの一部がはみだしたり、浮き上がっている状態でM0ドライブに挿入すると、ラベルがドライブ内部で剥がれ、M0ディスクが取り出せなくなることがあります。



禁止

ひびわれや変形、補修したM0ディスクは使用しないでください。

本製品内部で碎けて、けがや故障の恐れがあります。



禁止

M0ディスクを入れたまま移動しないでください。

本製品の動作中または、M0ディスクを本製品に入れた状態での移動はしないでください。

M0ディスク、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずM0ディスクを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。



強制

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等に、ほこりその他が付着し、M0ディスクの再生が正常にできなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。



禁止

シンナー・ベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。



禁止

アクセスインジケータが点灯している間は、パソコンの電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。



強制

M0ディスク内のデータおよびパソコン内のデータ（ハードディスク等）は、必ず他のメディア（フロッピーディスク、M0ディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合に、データは消失・破損する恐れがあります。

- ・ 誤った使い方をしたとき
- ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- ・ 故障、修理などのとき
- ・ パソコンの電源スイッチをOFFにした後、すぐに電源スイッチをONにしたとき
- ・ 天災による被害を受けたとき

上記の場合、またその他いかなる場合でも、データが消失・破損したことによる損害は、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

著作権

本書は弊社が著作権を有します。本書の一部または全部について、弊社の書面による承諾を得ない以下のことを禁じます。

- ・形式または手段を問わず複製・複写・転載すること。
- ・派生物（翻訳・変形・改作・流用）を作成すること。

免責

- ・本書の内容に関しては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点があれば、販売店または弊社インフォメーションセンターまでお問い合わせください。
また上記に関わらず、以下の事柄については弊社はいっさい責任を負いません。
 - (1) 本製品に付随する、または運用の結果もたらされたいかなる損害。
 - (2) 本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的な効果および利益の損失。
 - (3) 本製品のために費やした時間、経費。
 - (4) 弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合など。
 - (5) 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損。
 - (6) 本製品をご使用になって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常。
- ・弊社は、製品および本書を改訂し、随時その外観・内容のすべてを変更する権利を有します。またその際に、改訂または変更をいかなる個人または団体に対して通知する義務を負いません。

商標

本書に記載されている他社商品名は、それぞれの製造および販売会社の商標または登録商標となっている場合があります。

本書に他社商品名が記載されている場合、参考を目的としたものであり、弊社はそれらの商品の使用を強制あるいは推奨するものではありません。

また弊社は、それら他社商品の性能または運用についていっさい責任を負いません。

なお、本文中では、™、®、©などのマークは表記していません。

日本国外への持ち出しについて

- ・本製品のうち、戦略物資または役務に該当する物の日本国外への持ち出しに際しては、外国為替法に基づく輸出許可または役務取引許可が必要です。
- ・本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提として設計・製造されています。
本製品を日本国外で使用された場合の運用結果については、弊社はいっさい責任を負いません。
また弊社は、本製品に関して海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。

落丁・乱丁について

本書に落丁や乱丁があった場合はお取り替えいたします。販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

もくじ

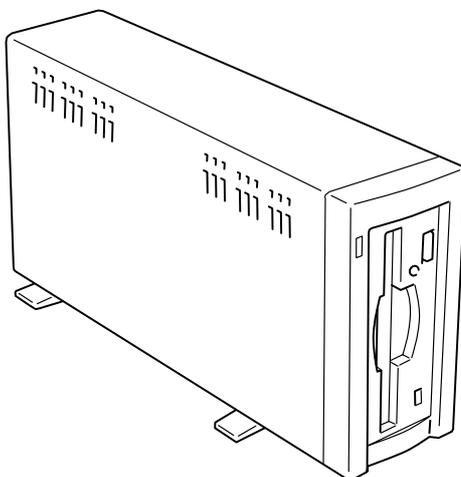
| | |
|----------------------|----|
| パッケージの内容 | 10 |
| MOSの特長 | 11 |
| 各部の名称 | 11 |
| セットアップのながれ | 12 |
| MOSの設定 | 13 |
| MOSの接続 | 14 |
| 接続前の注意事項 | 14 |
| アースの接続 | 15 |
| MOSだけを接続するとき | 16 |
| 複数のSCSI機器を接続するとき | 17 |
| MOSの取り扱い | 19 |
| 使用上の注意 | 19 |
| MOディスクの挿入 | 20 |
| MOディスクの取り出し | 20 |
| MOディスクが取り出せないとき | 21 |
| MOディスクを書き込み禁止にするとき | 21 |
| 製品仕様 | 22 |
| 保証とサービス | 23 |
| 保証書 | 23 |
| ユーザー登録 | 23 |
| メディアコンバージョンサービスのお知らせ | 23 |
| 修理 | 24 |
| 製品情報の入手 | 25 |
| メルブック販売のお知らせ | 27 |

パッケージの内容

パッケージには次の物が梱包されています。不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

本書ではMO ディスクドライブのみの製品のパッケージ内容を説明しています。SCSI インターフェイスボードまたはMacintosh用接続キットとのセット製品をお買い求めの場合は、別刷の「はじめにお読みください」にてパッケージ内容をご確認ください。

MOS (本体) 1台



SCSI-2ケーブル(D-sub ハーフピッチ50ピン) 1本

イジェクトピン 1本

フロッピーディスク「MOSシリーズドライブディスク」(3.5インチ) 1枚 (*)

MOSシリーズセットアップマニュアル 1冊 (*)

ハードウェアマニュアル(本書) 1冊

保証書、ユーザー登録はがき 1枚

(*) MOS-A230FC には添付されません。

ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。別刷で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

MOSの特長

1. SCSI-2対応

本製品はSCSI-2インターフェースに対応したMOディスクドライブです。
また、コネクタには信頼性の高いID-subハーフピッチ50ピンコネクタを採用しています。

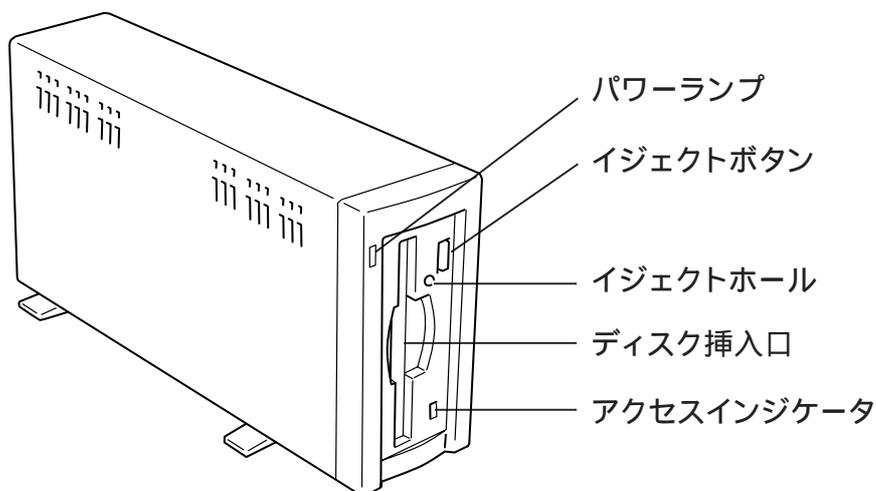
2. 高速タイプ

平均シークタイム27ms、キャッシュメモリ1MB(*)、ディスク回転速度4200rpmの高速性能を実現しました。

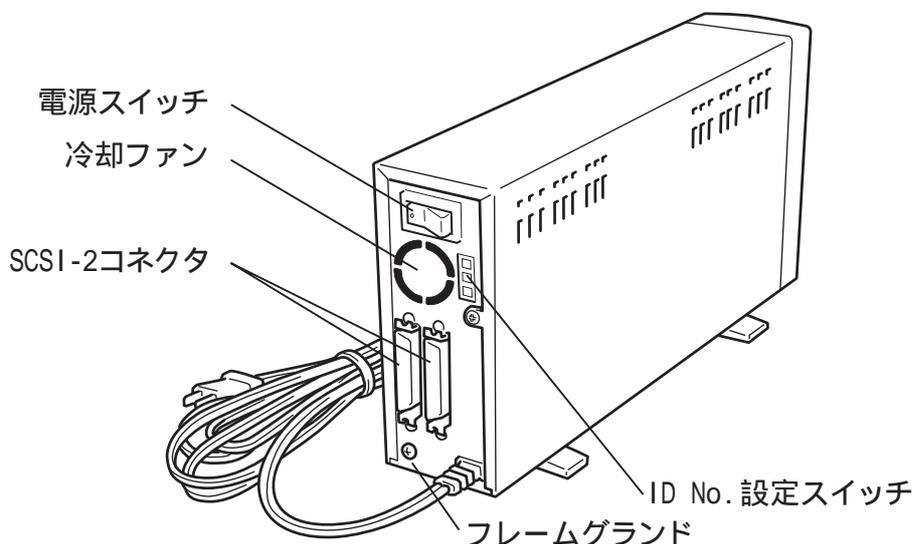
* : 出荷時はキャッシュ機能が有効 (ON) になっています。そのまま使用してください。

各部の名称

前面



背面



セットアップのながれ

MOSのセットアップ手順は次のとおりです。

パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにします

MOSのSCSI-IDを設定します【☞ P13「MOSの設定」】

MOSにアースを接続します【☞ P15「アースの接続」】

MOSをパソコンに接続します

- ・MOSだけを接続するとき 【☞ P16】
- ・複数のSCSI機器を接続するとき ... 【☞ P17】

MOSの電源スイッチをONにしてから
パソコンの電源スイッチをONにします

必要なときは、SCSI-2インターフェースボードまたは
パソコン本体の設定を行います

お使いのOSに応じてドライバをインストールします（*）

本書
(ハードウェアマニュアル)

パソコンまたはSCSI-2インターフェースボードのマニュアルを参照

別冊「MOSシリーズセットアップマニュアル」参照

- * ・ASPIドライバはDOS/Windows3.1専用です。Windows95およびWindowsNT4.0/NT3.51にはインストールしないでください。
- ・パソコンの機種やSCSI-2インターフェースボードによってインストールするドライバが異なります。使用しているパソコン、SCSI-2インターフェースボードに応じてドライバをインストールしてください。

MOSの設定

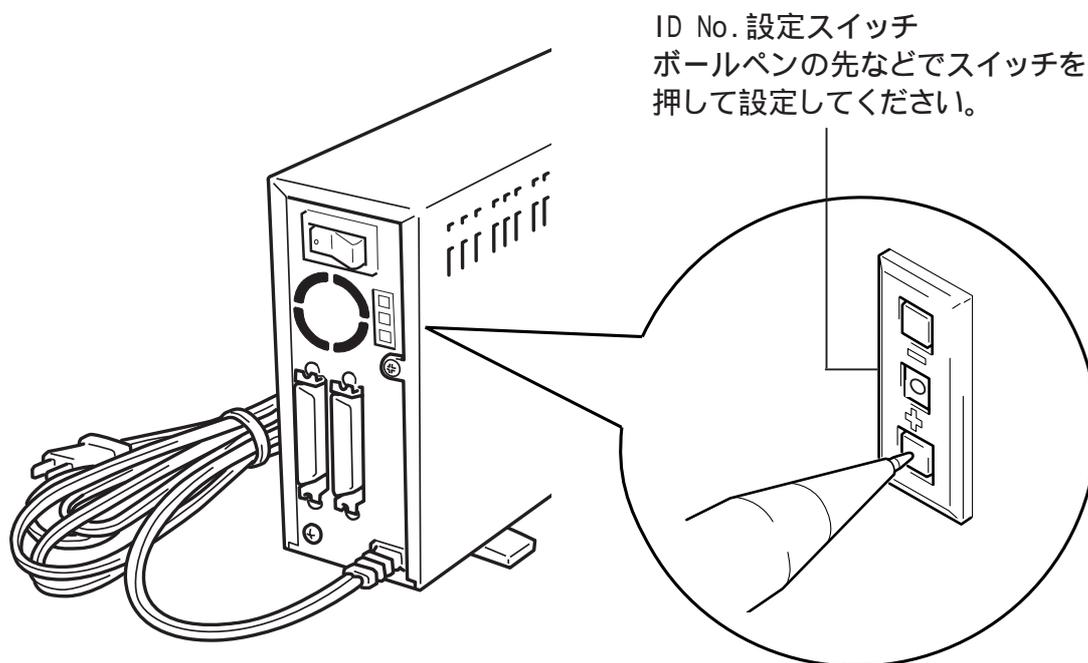
パソコン本体がSCSI機器を識別するために、接続しているSCSI機器に異なるSCSI-IDを設定します。

- ❗ MOSをパソコンに接続してからSCSI-IDを変更するときは、必ずパソコンおよびMOSの電源スイッチをOFFにしてください。

MOSのSCSI-IDは、本体背面にあるID No. 設定スイッチで設定してください。ID No. 設定スイッチは“0～7”で設定できますが、SCSI-2インターフェースボードが通常は“7”を使用するため、“0～6”で設定してください。

SCSI-IDは0から順に1、2、3、...と、連続して設定してください。

他のSCSI機器とSCSI-IDが重複しないように注意してください。SCSI機器を増設するときは、すでに接続されているSCSI機器のSCSI-IDを確認してください。



- ❗ 芯折れや粉末の発生する鉛筆などは使用しないでください。

SCSI-IDの設定が終わったら、MOSをパソコンに接続します。【👉 P14「MOSの接続」】

MOSの接続

接続前の注意事項

パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、ハードディスクやRAMディスク、シリコンディスクなどに記録されている大切なデータを、他のメディア（フロッピーディスクなど）に保存してください。

パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。

パソコンおよびMOSは精密な機器です。巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」の記載内容を必ず守ってください。

パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定、およびスイッチについては、各マニュアルを参照してください。

パソコン側の取り付け、取り外しに関しては、パソコンのマニュアルを参照してください。

MOSを2台目以降として接続するときは、次のことを確認してください。

- SCSI-2ケーブルはコネクタの形状と合っていますか？
- コネクタの形状に合ったターミネータはありますか？
- 他のSCSI機器とSCSI-IDが重複していませんか？
- 接続に使用するSCSI-2ケーブルの長さの合計は6m以内ですか？

MOSを接続するためには次の物が必要です。事前に用意してください。

- パソコンおよび周辺機器のマニュアル
- MOS本体
- SCSI-2インターフェースボード

MOSを1台目として使用するときは、SCSI-2インターフェースボード（別売の弊社製IFC-DPなど）が必要です。お使いのパソコンに合ったSCSI-2インターフェースボードを用意してください。

Macintoshのようにパソコン本体にSCSI-2インターフェースボードが内蔵されている機種では、SCSI-2インターフェースボードの取り付けは不要です。

- ・ SCSI-2ケーブル

付属のSCSI-2ケーブルは、D-sub ハーフピッチ50ピン D-sub ハーフピッチ50ピン用です。コネクタの形状がD-sub ハーフピッチ50ピン以外の場合は、弊社製接続キット（別売品）を使用して接続してください。

- ・ ターミネータ（D-sub ハーフピッチ50ピン用）

SCSI-2インターフェースボードおよびSCSI-2ケーブルを接続するときは、使用するSCSI 機器のマニュアルを参照してください。

アースの接続

MOSをパソコンに取り付ける前に別途アース線を用意し、MOSとMOSに接続するすべての機器（パソコンやSCSI 機器）にアースを接続してください。



接続されているすべての機器にアースを接続してください。一部の機器にだけアースを接続することは危険です。また、アースを接続しないで使用すると、漏電による故障や感電のおそれがあります。

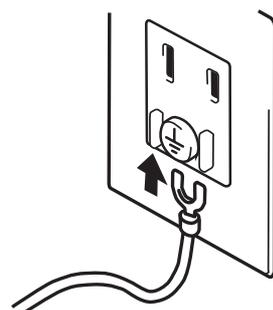


アースの接続は、SCSI ケーブルや電源コードを接続する前に行ってください。

本製品には次の手順でアースを接続します。

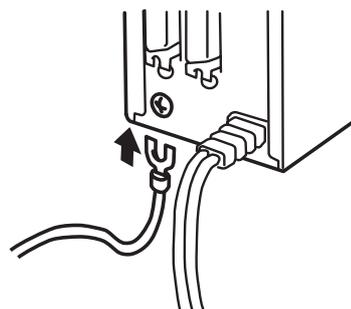
1

AC コンセントのアース端子に別売のアース線を接続します。



2

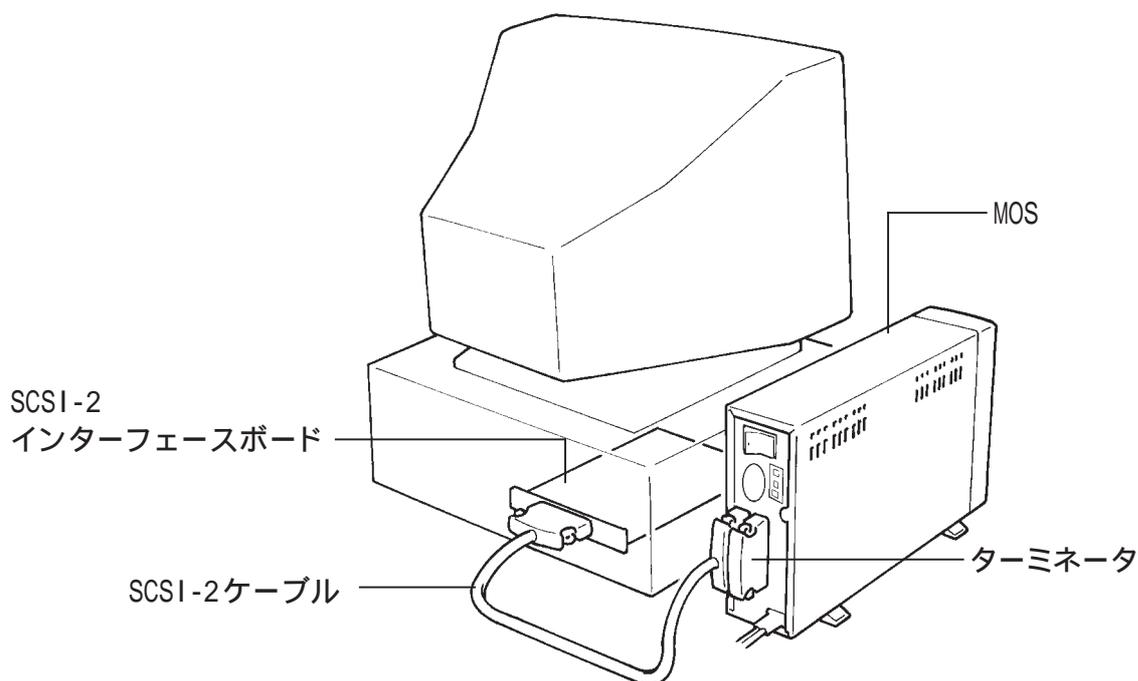
MOSのフレームグラウンドにアース線を接続します。



MOS だけを接続するとき

次の手順を行う前にSCSI-2インターフェースボードをパソコンに取り付けてください。ただし、Macintoshのようにパソコン本体にSCSI-2インターフェースボードが内蔵されている機種では、SCSI-2インターフェースボードの取り付けは不要です。

- 1 ▶ パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをすべてOFFにします。
- 2 ▶ パソコンまたはSCSI-2インターフェースボードのSCSIコネクタとMOSのSCSIコネクタのどちらか一方を、SCSI-2ケーブルで接続します。
 - ▶ SCSI-2インターフェースボードもしくはパソコン側のコネクタ形状がD-subハーフピッチ50ピン以外の場合は、別売の弊社製接続キットが必要です。
- 3 ▶ MOSの空いているSCSIコネクタに、ターミネータ(D-subハーフピッチ50ピン用)を取り付けます。
- 4 ▶ MOSの電源コードをACコンセントに接続します。
- 5 ▶ MOSとパソコンの電源スイッチをONにします。パソコン本体またはSCSI-2インターフェースボードの設定が必要なときは、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。



以上でMOSの接続は完了です。続いて別冊「MOSシリーズセットアップマニュアル」を参照してドライバをインストールします。

インストールするドライバは、パソコンの機種やSCSI-2インターフェースボードによって異なります。パソコンに応じたドライバをインストールしてください。

複数のSCSI機器を接続するとき



SCSI機器は最大7台まで接続することができますが、接続に使用するSCSI-2ケーブルの長さの合計が6mを超えないように注意してください。

1

パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをすべてOFFにします。

2

最終端に接続されているSCSI機器のターミネータを取り外します。

3

ターミネータを取り外したSCSIコネクタとMOSのSCSIコネクタのどちらか一方を、SCSI-2ケーブルで接続します。

▶ 最終端に接続されているSCSI機器のコネクタがアンフェノールハーフピッチ50ピンときは、別売の弊社製変換コネクタDKC-CXを使用してケーブルを接続してください。

4

MOSの空いているSCSIコネクタに、**2**で取り外したターミネータを取り付けます。

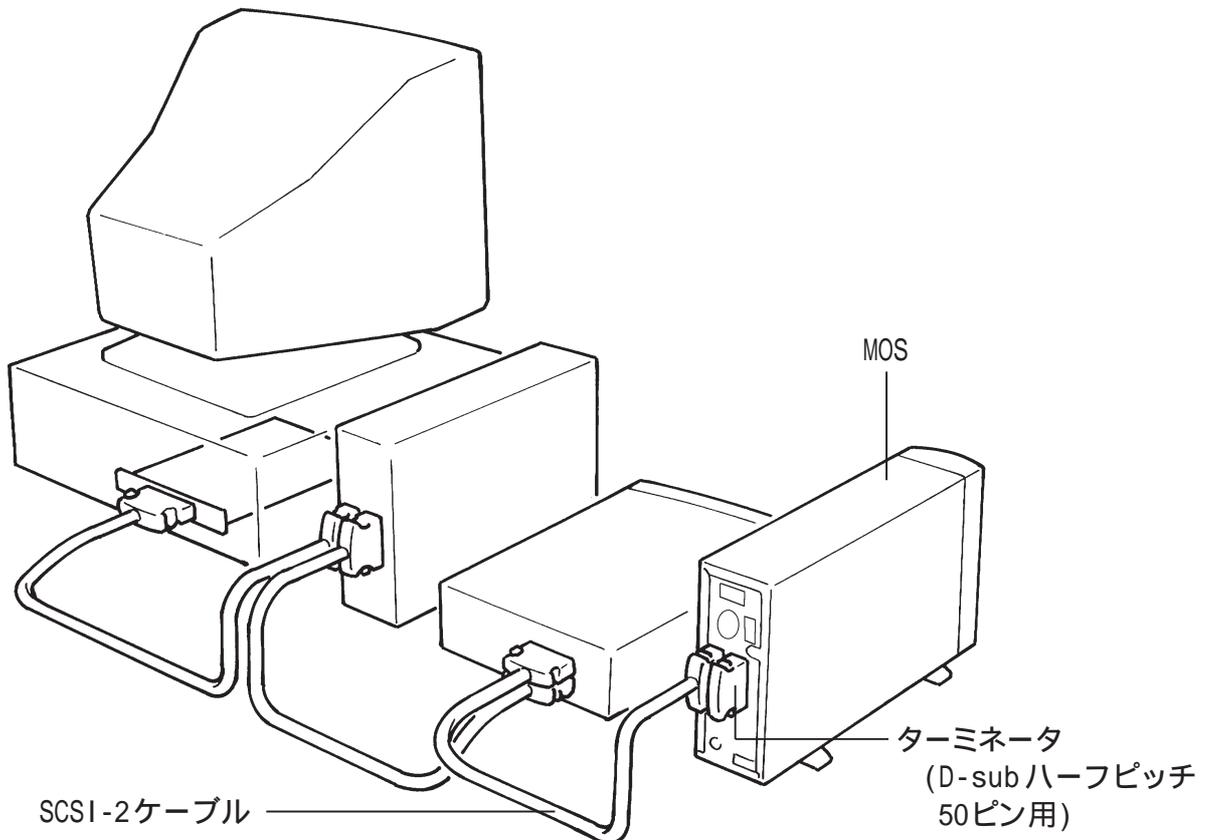
▶ ターミネータのコネクタがアンフェノールハーフピッチ50ピンときは、別売の弊社製ターミネータを使用してください。

5

MOSの電源コードをACコンセントに接続します。

6

MOSとパソコンの電源スイッチをONにします。パソコン本体またはSCSI-2インターフェースボードの設定が必要なときは、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。



以上でMOSの接続は完了です。続いて、別冊「MOSシリーズセットアップマニュアル」を参照してドライバをインストールします。

インストールするドライバは、使用しているパソコンやSCSI-2インターフェースボードによって異なります。パソコンに応じたドライバをインストールしてください。

MOSの取り扱い

使用上の注意

電源スイッチをONにするときは、必ず 周辺機器 (MOS 含む) パソコン の順でONにしてください。

電源スイッチをOFFにするときは、必ず パソコン 周辺機器 (MOS 含む) の順でOFFにしてください。

MOディスクの初期化について

MOディスクは、使用する前に初期化(フォーマット)を行う必要があります。本製品にはMOディスクをフォーマットするためのプログラムが添付されています。利用できるフォーマットプログラムは、MOディスクの利用形態により異なります。詳細は、別冊「MOSシリーズセットアップマニュアル」を参照してください。

Windows95でMOディスクにバックアップするときの注意

Windows95付属のバックアップツールを使用してMOディスクにバックアップするときは、バックアップするデータの総容量がMOディスクの容量を超えないようにしてください。MOディスクの容量を超えたデータはバックアップできません(これはバックアップツールの仕様によるものです)。

MOディスクにラベルを貼るときは、指定の位置からはみ出さないようにしてください。

MOS内でラベルがはがれると、MOディスクが取り出せなくなることがあります。

アクセスインジケータが点灯しているときは、パソコンからアクセスしないでください。

MOSの準備ができていないため、アクセスエラーが発生します。

MOディスクにアクセスしているとき(アクセスインジケータが点灯しているとき)は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。

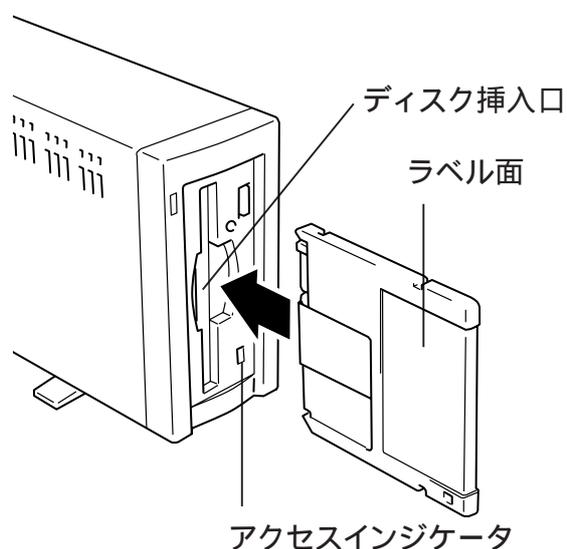
MOディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。

MO ディスクの挿入



MO ディスクにラベルを貼るときは、指定の位置にしっかりと貼ってください。
MOS 内でラベルがはがれると、MO ディスクが取り出せなくなることがあります。

MO ディスクを挿入するときは、ラベル面を左側に向けてディスク挿入口に差し込みます。正しく挿入されると、アクセスインジケータが2から3秒間点灯します。アクセスインジケータが消えたことを確認してから、パソコンからの操作を行ってください。

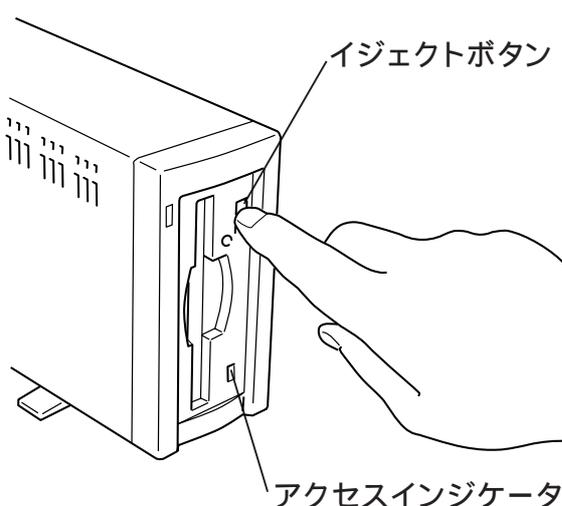


MO ディスクの取り出し



アクセスインジケータが点灯しているときは、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。MO ディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。

MO ディスクを取り出すときは、アクセスインジケータが消えていることを確認してからイジェクトボタンを押します。MO ディスクが出てきたら、手で引き出します。



HD モード使用時は、システムの電源がONになっているとMO ディスクを取り出すことはできません。MO ディスクを取り出すときは、システム全体の電源をOFFにした後、MOS の電源だけをON にしてイジェクトボタンを押してください。

MO ディスクが取り出せないとき

停電時やイジェクトボタンを押してもMOディスクが排出されないときなどに、MOディスクを取り出す方法を解説します。

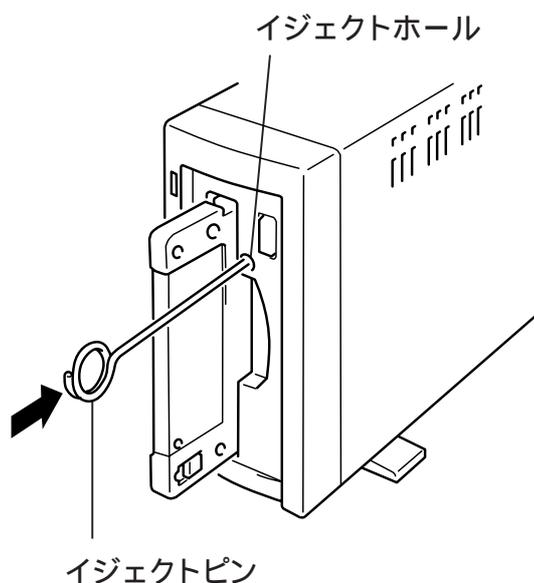
 次の操作は、必ずパソコン本体とMOSの電源スイッチがOFFの状態で行ってください。

1 パソコン本体とMOSの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

2 付属のイジェクトピンをイジェクトホールに差し込みます。

▶ MOディスクが排出されるまで慎重に差し込んでください。

3 MOディスクが出てきたら、まっすぐ引き出します。

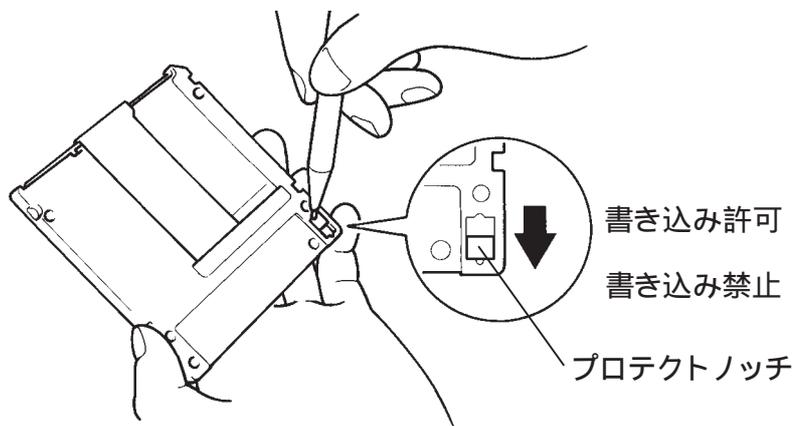


MO ディスクを書き込み禁止にするとき

MOディスクに記録したデータを誤って消去してしまわないために、MOディスクへの書き込みを禁止することができます。

MOディスクの背面にある「プロテクトノッチ」を、ボールペンの先などで書き込み禁止の位置に移動させてください。

再度データを書き込むときは、プロテクトノッチを書き込み許可の位置に移動させます。



製品仕様

| | | MOS-S230F |
|--------------|--|----------------|
| インターフェース | SCSI/SCSI-2 (シングルエンド) | |
| SCSIコネクタ | D-subハーフピッチ50ピン | |
| ディスク | 3.5インチ光磁気ディスクカートリッジ(ISO規格準拠) | |
| 記憶容量 | 128/230MB | |
| 回転数 | 4200rpm | |
| 平均シークタイム | 27msec | |
| 平均回転待ち時間 | 7.1msec | |
| 転送速度 | 同期 | 5.0MB/sec (最大) |
| | 非同期 | 3.3MB/sec (最大) |
| ターミネータへの電源供給 | 供給する | |
| バッファメモリ容量 | 1MB | |
| 外形寸法 | 42(W) × 120(H) × 249(D)mm | |
| 電源 | AC100V 50/60Hz | |
| 動作環境 | 温度：5～35 (勾配10 /時) 湿度：10～80% (結露なきこと) | |
| 対応機種 | NEC製 PC-9801/9821シリーズ* PC98-NXシリーズ (PCIバス搭載機種)* DOS/V機 (OADG仕様)* PCMCIA搭載NOTEパソコン* Apple製Macintosh | |

* 弊社製 SCSI-2インターフェースボードと併用

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (<http://www.melcoinc.co.jp/>)をご参照ください。

保証とサービス

保証書

本製品には保証書がついています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

保証期間と保証規定については製品に同梱された保証書を参照してください。修理を依頼する場合は弊社修理センターにご依頼ください。修理センターの連絡先は「修理」【 P24】を参照してください。

ユーザー登録

本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けることができません。ユーザー登録は必ず行ってください。ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送してください。弊社製品のユーザーとして登録いたします。ユーザー登録後に製品を譲渡した場合は、ユーザー登録を変更することができません。

メディアコンバージョンサービスのお知らせ

本製品には、3.5インチのフロッピーディスクのみを添付しています。5インチのフロッピーディスクドライブのみを搭載する機種をお使いのときは、弊社インフォメーションセンターにて5インチフロッピーディスクへのメディアコンバージョンサービスを行っています。ご希望の場合は、次の連絡先までご連絡ください。なお、メディアコンバージョンサービスは有料（¥1,000 税込み）となっております。

連絡先 株式会社メルコ 備品販売窓口
電話番号 052-619-1833
受付時間 月曜日～金曜日（祝日を除く） 9:30～12:00/13:00～17:00

修理

故障と思われる症状が発生したときは、まず説明書を参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の要領で弊社修理センター宛に製品をお送りください。

| | |
|--------------|--|
| 製品送付先 | 〒 457-8520 名古屋市南区柴田本通 4-15 株式会社メルコ 修理センター宛 お預りした修理品の専用窓口ですので、修理品に関するお問い合わせ以外は承っておりません。 あらかじめご了承ください。 |
| 送付していただくもの | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の起きる製品 ・ 下記チェック項目について明記した資料 ・ 本製品の保証書の原本 |
| 送付方法 | <p>宅配便等、送付された控えが残る方法でお送りください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 郵便は固くお断り申し上げます。 ・ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。 <p>輸送中の事故につきましては弊社で責任を負いかねますので、ご了承ください。</p> |
| 修理費用 | <p>保証書に記載の保証期間中であれば無償修理となります。詳細は保証書をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保証書の原本が添付されていない場合は、有償になる場合がありますので、必ず添付してください。 |
| 修理期間 | <p>修理期間は、弊社到着後、7日程度(弊社営業日数)を予定しております。諸事情により、14日(弊社営業日数)以上かかる場合は、弊社よりご連絡いたします。</p> |
| 連絡していただきたい事項 | <p>返送先お名前 / 住所 / 電話番号(内線) / FAX番号 平日昼間の連絡先お名前 / 住所 / 電話番号(内線) / FAX番号 修理対象のメルコ製品名 弊社製品ハードウェアシリアルNo. 弊社製品ソフトウェアシリアルNo. 具体的な症状 / エラーメッセージ 発生状況(始めから / ある日突然 / 環境を変えたら) 発生頻度(必ず / 頻繁 / 時々 / 時間が経過すると、など) コンピュータ(本体メーカー名 / 型番 / シリアルNo.) ハードディスク(メーカー名 / 型番 / シリアルNo.) ディスプレイ(メーカー名 / 型番 / シリアルNo.) その他周辺機器(メーカー名 / 型番 / シリアルNo.) 基本ソフトウェア(ソフト名 / メーカー名 / バージョンなど) アプリケーション / バージョン(症状に依存性のある場合はその詳細を明記) 製品以外の添付品(付属ソフトなど)</p> |

製品情報の入手

弊社製品の情報は次の方法で入手できます。



インターネット (24時間)

新製品情報、Q&A サービスなどを提供しています。

WWW サーバアドレス <http://www.melcoinc.co.jp/>
<http://www.melcoinc.com/> (ミラーサーバ)



パソコン通信 (24時間)

新製品情報などを提供しています。

NIFTY-Serve MELCO Station < GO SMELCO >



FAX 情報 (24時間)

詳しい使い方やトラブルの対処方法など、弊社製品に関する情報を24時間提供しています。操作の方法は次のとおりです。

情報を受け取るファクシミリで操作してください。

ファクシミリはプッシュ信号が出るものを使用してください。

情報はひとつひとつ「BOX」と呼ばれる場所に入っています。BOX情報の一覧は「0010 (総合メニュー)」で引き出すことができます。

BOX 番号は一度に5個まで選択できます。

- 1 ファクシミリの受話器をあげて、「052-614-6911」をダイヤルします。
- 2 音声案内に従って4桁のBOX番号と「#」を押します。
- 3 確認のメッセージが流れます。押した番号でよければ「#」を、取り消すときは「7」「#」を押します。
- 4 BOXの選択が終了したら「#」を押します。
- 5 「ピー」という送信音が聞こえたらファクシミリのスタートボタンを押し、受話器を置きます。

ファクシミリに情報が送られます。



インフォメーションセンター

〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 (株)メルコ ハイテクセンター内

【東京】 NEC、EPSON(98互換機)用製品 03-5350-7878
DOS/V、TOWNS、Macintosh用製品 03-5350-7990

月曜日～金曜日(祝日を除く)

9:30～12:00/13:00～21:00

土曜日、祝日(日曜日を除く)

9:30～12:00/13:00～17:00

【名古屋】 NEC、EPSON(98互換機)用製品 052-619-1821
DOS/V、TOWNS、Macintosh用製品 052-619-1897

月曜日～金曜日(祝日を除く)

9:30～12:00/13:00～17:00

電話番号のおかけ間違いがないようご注意ください。

お問い合わせのときはメモ用紙、ペンなどを用意し、下記の項目をお調べの上ご連絡ください。

コンピュータ名とスイッチ設定

弊社製品名とスイッチ設定

本製品のシリアルナンバー

併用している周辺機器名

使用しているアプリケーションソフト名

具体的なエラーメッセージ

メルブック販売のお知らせ

パソコンを初めて使う方のために、必要な情報だけをピックアップした書籍です。パソコンやOSの仕組みをとおして、弊社製品を使ったパソコンの活用方法をわかりやすく解説します。パソコンをはじめたばかりの方におすすめします。

| ブックナンバー | タイトル | 価格（税別） |
|---------|---|------------------|
| ① | MS-DOS/98基礎研究 メモリを知ろう | 1,000円 |
| ② | MS-DOS/98基礎研究 LANを知ろう | 1,000円 |
| ③ | MS-DOS/98基礎研究 外部記憶装置を知ろう | 1,000円 |
| ④ | マルチメディア基礎研究 Windowsを知ろう | 1,000円 |
| ⑤ | マルチメディア基礎研究 386マシンをマルチメディアパソコンにする | 1,000円 |
| ⑥ | マルチメディア基礎研究 スキャナとWordでハガキを作ろう | 完売 |
| ⑦ | MS-DOS/98基礎研究 CPUアクセラレータを知ろう | 1,000円 |
| ⑧ | MELWARE for WINDOWS公式ガイドブック | 完売 |
| ⑨ | Windows95対応ドライバ集&Windows95導入ガイドブック | 完売 |
| ⑪ | DOS/V・98基礎研究 イメージクリップセットとWordで年賀状をつくろう | 1,000円 |
| ⑫ | DOS/V・98基礎研究 外部記憶装置をグレードアップしよう | 1,000円 |
| ⑬ | マルチメディア基礎研究 イメージクリップボードでホームページをつくろう | 1,000円 |
| ⑭ | DOS/V・98基礎研究 インターネットをはじめよう | 1,000円 |
| ⑮ | DOS/V基礎研究 ミニコンポ 企業での導入事例 | 1998年1月末 発売予定 |

ご購入のお申し込み方法

1. インターネットホームページ .. <http://www.melcoinc.co.jp/qa/info3.html>
2. FAX 情報 052-614-6911 (ボックスNo. 0800)
3. 郵送 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15
(株)メルコ 備品販売窓口

なお、送料として別途270円が必要です。書店では販売しておりません。

最新のメルブック刊行案内および内容紹介については、インターネットホームページまたはFAX情報をご利用ください。

MOS-S230Fハードウェアマニュアル

1997年 12月 8日 第3版発行

発行 株式会社メルコ

DM97106-3-01